科目名	英語演習ＩＣ（English Practice ＩC）						
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第5学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科	学修	1 単位	必修	講義	前期 100 分/週	45 時間
担 当 教 員	【常勤】 南 優次						

学 習 到 達 目 標

科目の到達目標レベル	①英語構文の体系的な理解ができる。 ②テーマに沿った英会話の基本が理解できる。 ③発音やイントネーションに配慮した基本的な英会話ができる。 ④英語によるプレゼンテーションの基本が理解できる。

学習・教育目標	(G)②	JABEE基準1(2)	(f)

関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材

関連科目	英語演習ＩA, ⅡA, ＩB
教科書	「アメリカ口語教本・初級用」W.L.クラーク著（研究社）
補助教材等	

達 成 度 評 価 （%）

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	30	20	10	10				100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	○	○	○	○	○				
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○							
汎用的技能 【　】	◎	◎		○					
態度・志向性(人間力) 【　】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【　】									

学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言

本校指定の外部資格であるTOEICの400～600, 英検の準2級～2級レベルの教材である。
アメリカ本土で、日本人留学生として生活するのに十分な日常会話の基礎を学習できる。
実践的な会話能力養成を目指すので、シャドーイングが自然にできるまで反復練習することが必要である。
また、TOEIC公式HP及び英検公式HPでは、英語学習者サポートアプリが充実している。
講義の中で、TOEIC及び英検がHP内で案内する英語学習スケジューリングサポートページを紹介するので、
本校の情報インフラを十分に活用して、TOEIC及び英検を受験する準備を効率的に進めることが必要である。
また、自己紹介程度の基礎的なプレゼンテーションを英語でできるようになることが必要である。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	ガイダンス・はじめに Unit1 What's New?	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 Let's, Shall Iの用い方を理解できる。	予習として、Unit1のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
2	Unit2 What's your major?	some, any, no, each, every, 否定表現の用い方を理解できる。	予習として、Unit2のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
3	Unit3 It's fun to play mahjong.	before,after,next,last,let,make,fun, difficult,nice,important,否定疑問文,定冠詞の用い方を理解できる。	予習として、Unit3のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
4	Unit4 A modern home	付加疑問, 複合名詞の強勢, 副詞, graduate, marryの用い方を理解できる。	予習として、Unit4のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
5	Unit5 Micky's honme town	関係代名詞, who, home, both, tell about, like, remindの用い方を理解できる。	予習として、Unit5のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
6	Review Work Unit1～5 プレゼンテーション基礎練習	Unit1～5SectionⅣ発音練習を通じて、英語のプレゼンテーションの基礎が理解できる。 その1：自己紹介	予習として、Unit1～5のセクションⅣの概要を理解しておくこと。
7	Unit6 Two successful man	集合名詞, 可算・不可算名詞, news, something, rarely, seldom, never, suchの用い方を理解できる。	予習として、Unit6のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
8	中 間 試 験		
9	答案返却・解答解説 Lesson7 Hiking and Hitchhiking	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 間接疑問・動詞句の用い方を理解できる。	予習として、Unit7のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
10	Unit8 Some interesting kinds of art	most, some, none, no, almost, speak, tell, say, talk, ask, find, move, remove, I'm sorryの用い方を理解できる。	予習として、Unit8のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
11	Unit9 Two kinds of Education	before, after, tell, teach, show, next door, be born, have trouble, discuss, get along withの用い方を理解できる。	予習として、Unit9のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
12	Unit10 A full scholarship	either, too, neither, so, then, already, yet, still, anymore, hurry, enjoy～ing, anotherの用い方を理解できる。	予習として、Unit10のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
13	Review Work Unit6～10 プレゼンテーション基礎練習	Unit6～10Ⅳ発音練習を通じて、英語のプレゼンテーションの基礎を理解できる。 その2：研究テーマ	予習として、Unit6～10のセクションⅣの概要を理解しておくこと。
14	Review Work Unit1～10 プレゼンテーション基礎練習	Unit6～10Ⅳ発音練習を通じて、英語のプレゼンテーションの基礎を理解できる。 その3：テーマ選択の理由	予習として、Unit1～10のセクションⅣの概要を理解しておくこと。
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 学 習 時 間 数			45 時間
講　　義			25 時間
自学自習			20 時間